



国際ロータリー第2530地区東北第一区
福島南ロータリークラブ

2008年-2009年RIテーマ **夢をかたちに**

■会 長/廣澤 俊樹 ■幹 事/大野 順道

第34回例会 平成21年3月11日(水) サンパレス福島

■会員/67名 ■出席/50名 ■出席率/74.63%
■メイクアップ/17名 ■修正率/100%

- 本日のプログラム**
- 1 開会点鐘
 - 2 ロータリーソング(奉仕の理想)
 - 3 4つのテスト
 - 4 来訪者紹介と会長あいさつ
 - 5 ガバナーノミニー報告
 - 6 PEST報告
 - 7 ゲストスピーチ
 - 8 各委員会報告 スマイルング 財団 出席
 - 9 閉会点鐘

会長挨拶 廣澤 俊樹会長

今日は、私の職業奉仕としまして第3回目の建築学の講義をします。1回目は建物は土地の上に浮く舟であり、地盤の弱い土地の上に建つ建物は基礎にコストがかかること、2回目は、コンクリートや鉄筋はそれぞれ強度に分かれ高強度なものほど、コストが高くなり、設計は高強度のものであっても、施工は低強度になると、一般の人には判別不可能であり、監理をされるように、という事でありました。

3回目の今日は、建物の維持、保全についてお話しします。ご存知のように建築物とは永久に、新築時の姿を保ち続けるものではありません。築5年、10年20年等節目に、清掃や塗装替え、水回り等のチェックをしてお

かないと、後で定期的に負担したメンテナンス費用の何倍も掛かる場合があります。1991年に竣工しました、東京都庁舎は今後10年を掛け内外を含め、全面補修を行います。竣工時の工事総額が約1,780億円に対し、補修費用は約780億円と様々な補修を予定しているようですが、プロの建築士から見れば、築18年の経年化による劣化だけとは考えにくいところがあります。

1943年竣工、築40年になる日本初の超高層建築物の霞ヶ関ビルは工事総額、約160億円、補修費用は約300億円でした。人間の体と同じように、建物も定期的にメンテナンスしないと後で大変なことになるかれませんので、ご注意ください。

本日のお客さま

右 本日のゲストスピーカー 油井 憲一様
中央 会津地区ガバナー補佐 佐藤 治良様
左 福島西RC パスト会長 金子與志邦様

ガバナーノミニー報告 博多 義雄

3月7日(土)に、パスト会長の皆様や林次期会長、黒羽エレクトや関係者の方々にお集まりいただいてガバナー年度の打ち合わせを致しました。4月11日に会津で地区協議会が開催されます。我々にとって、最大の勉強する機会だと思います。関係各位の皆様にも、ご協力お願いいたします。

PEST 報告 林 克重

2月21日、22日に会津若松にて、会長エレクト研修会が行なわれまして参加してまいりました。中澤ガバナーエレクトより、国際ロータリーテーマの発表がありました。

テーマは、「THE FUTURE OF ROTARY IS IN YOUR HANDS」日本語で、「ロータリーの未来は、あなたの手の中に」です。今後とも、皆様のご協力をお願い申し上げます。

本日のゲストスピーチ 油井 憲一様

村のチャンスだぞい

俺は福島市の大笹生の生まれでない。いつも自己紹介をしつ時は、「福島農道空港」のあつ処って言うど、外国旅行さ行く時は、そこから乗ってみると言われんのない。なかなか分かってもらえない。色々考えだげんちょも、山形県境で百何匹かの猿と一緒に暮らしてんだと言うどよくわがってくれんのない。ほだ訳で俺の大好きな村の話を川柳を交えてしんかんない。俺りんご畑にいるど通りがかりの人が、去年の秋がらアメリカ発の世界同時不況だなんて言うもんで、困ったもんだと思つてない。ほしたら御上では日本は十数年前にバブル経済を乗り越えてっから、大丈夫だつて言うんで安心しつたのない。ところが年末になったら、花形産業だつた、自動車会社や電機会社が将棋倒しにあつてんだもんない。俺はりんごの剪定をしながら考えんのない、村にとって明治維新がら今までの百四十年はなんだつたんだべつて。いろんな戦争で兵隊にうんととらつちゃのは、丈夫な百姓のせがれだと言う話だぞい。戦後の好景気に東京さ稼ぎに行ったのも百姓の子弟だつたのない。

中、終わり省略(編集の都合上、お話を聞きたい方は事務局に、例会時のテープがございます。)

会員紹介 藤橋会員

多くの方々と同じ目線で話し掛け、それに答えてくれる仲間
そこには暗黙のルールがあり、それらを理解し合えるロータリアンになりた〜い(願望)

今月・来月のプログラム

4月 1日(水) ゲストスピーチ パストガバナー 阿久津 肇様
4月 8日(水) 観桜会 サンパレス福島 18:00~
4月11日(土) 地区協議会 会津大学
4月26日(日) 東北第一区ゴルフ大会 民報コース

(編集担当者コメント)
桜の開花がまちどおしい季節になりました。
編集担当 伊藤 絃一